

上越数学教育学セミナーのご案内

スウェーデンから本学へ滞在中の外国人研究員による講演会を開催します。数学教育学研究について幅広く話し合えればと思います。お気軽に参加下さい。入退室自由！飲食自由！

講演者： 浅見ヨハンソン 由紀子
スウェーデン・イエブレ大学 (University of Gävle) ・講師

日時： 2017年4月28日（金）14:00 から

場所： 自 718 教室

題目： 日本の問題解決を使った授業の生態についての研究
～スウェーデン他でのケーススタディを通して～

概要： 今回のセミナーでは、私の博士論文のための研究の全体像とその一部の詳細を紹介します。日本の算数・数学教育では、いわゆる structured problem solving 型の問題解決の授業が実施されているとしばしば指摘されます (Stigler & Hiebert, 1999)。本研究は、そうした問題解決の授業がいかなる環境で成立しうるのか、それを実現するための条件とそれを妨げる制約、すなわち問題解決を使った授業の“生態”を、スウェーデンやフィンランドで収集したデータの分析を通して解明することを目的とします。この目的を達成するため、3つの異なった文脈において実施された授業実践等でデータを収集するとともに、シュバルールによる教授人間学理論を用いたデータの分析により、授業における数学的な活動と教師の教授活動を特徴付け、日本の問題解決の授業の生態を総括的に考察します。3つのケーススタディは、①日本の中学校における問題解決の授業実践、②スウェーデンの中学校での授業実践、③日本・フィンランド・スウェーデンの各国における算数科指導法もしくはそれに該当する講義で検討された「図形の面積」に関する授業の比較、についてのものです。

皆様のご意見・アドバイスを宜しく願います！

言語： 日本語

世話人： 宮川 健（数学） Tel: 025-521-3401 e-mail: miyakawa@juen.ac.jp